

令和4年度 第1回津山市男女共同参画まちづくり審議会（会議要旨）

日時：令和4年7月27日（水）13：30～15：00

場所：津山男女共同参画センター「さん・さん」

出席委員：7名（在任委員数14名）

出席市職員：5名

傍聴者：0名

議事次第

1 開会

- (1) 出席者紹介
- (2) 諮問
- (3) 市長あいさつ
- (4) 副会長選出

2 議事

- (1) 公開・非公開の採決
- (2) 議案第1号 第4次津山男女共同参画さんさんプランについて
 - ①令和3年度事業実施報告
 - ②令和4年度事業実施計画
- (3) 議案第2号 第5次津山男女共同参画さんさんプランの策定について
- (4) その他

3 閉会

【審議内容】（2）議案第1号 第4次津山男女共同参画さんさんプランについて

委員 女性の委員が少ない理由には、人材問題もあると思う。女性の人材育成について、岡山市では勉強会等の取組を行っているが、津山市では女性の人材育成について検討はしてないのか。女性の立場としては、人材育成があるとよいと思う。

委員 乳がん検診、子宮がん検診の受診率について。あまりに低い。もっと行政が受診を促すなどしなければならない。少し残念な結果だ。

事務局 はがき等により受診を促すと担当課から伺っている。

委員 目標数値について。現時点で難しい数値については、下げたりしないのか。

事務局 中間見直しがないため、目標数値の変更はしない。

委員 今やコロナによる影響を多方面で受けていると思う。計画を中止する等は、安全面を考えると一番の対策に繋がるかもしれないが、子育てをしている親は生活の自粛や子どものストレスの発散の場所などに日々悩まされている。コロナの中でも、今を生きる子どものために、何かしら工夫をしていかなければならない。このままコロナを理由にしていけないのか。

委員 津山市男女共同参画市民アンケートについて。「DVを受けたことについて、誰

かに相談したいと思いましたが？」についての回答の4割弱が「相談したいと思わなかった」となっている。被害者は、私だけが我慢すれば、とDVのサイクルにはまっている中で、この率を下げる案はあるのか。

事務局 津山市の配暴センターだけでなく、県や国が行っている相談先などを周知していきたい。

委員 高校や大学でデートDVの講演会をやっているのでは。

事務局 学校でやっていることを聞いたことがある。

委員 津山市の学校でも、デートDVに関する講演会を行ってほしい。

委員 高校生デートDV、出前講座を人権擁護委員でやっている。コロナを理由にやめるのではなく、子ども達が体験できる場を作る支援を行っていくべき。

【審議内容】（3）議案第2号 第5次津山男女共同参画さんさんプランの策定について

委員 第5次プラン体系図について。DV防止計画を別立てにせず、プランの中に入れていたのはどういう意図か。

事務局 DV防止計画は第4次プランのときに入れた。包含していれば5年に一度必ず見直すことができるので、含めている。

委員 DVは自分の身の回りであまり聞かない。そんなに起きているという認識を新たにした。

委員 アンケート内容を載せる件について。津山市男女共同参画市民アンケートの結果概要版はわかりやすい。これを載せるのは賛成。

また、「政策・方針決定過程への女性の参画拡大」について、第5次プランということで数値を増やすのは理解できるが、達成が難しいようであれば、目標の数値を下げるのを検討してはどうか。

委員 先日、オリーブの家の講演を聞いた。セミナー実施を行うのはどうか。

数値目標現状との開きがある部分の達成に対する考え方、特に7番について、どう考えているのか。

事務局 担当課からは、別で立てている計画の目標数値に合わせていると聞いている。

委員 高い目標を設定してその達成を目指すのは一般的な行政の姿勢だと思う。今一度、関係部署への確認が必要と思う。

委員 正規職員の女性の割合を新たに評価指標に入れたのはいいと思う。入れた経緯は。

事務局 庁内の男女共同参画まちづくり推進本部で、市職員についてだけでなく「民間の管理職の女性割合」を目標に入れてはどうか、との意見があった。しかしそれはデータ収集が難しかったので、国勢調査のデータが使える「正規職員の女性の割合」を指標とした。